第２１回　全国中学生創造ものづくり教育フェアｉｎかながわ

「あなたのためのおべんとうコンクール」実施要項（案）

□目的　　・中学校技術・家庭科での学習した内容を生かし、おべんとうづくりを行う。

　　　　　　その成果の発表を通して、知識や技術の向上を図りよりよい食生活をめざそうとする意欲を育てる。

　　　　　・食べてもらう相手のことを考えたおべんとうづくりを通して、身近な人とのかかわりの大切さや「食」の重要性を知る。

　　　　　・コンクールを通して、参加者が互いの工夫点や技能を学び合い、神奈川県内の交流の場とする。

□参加人数　　１人（参加校からは５人までとする）

□参加費　　　なし

□競技について

**（１）作品の条件**

　　　　　対象者「あなた」を設定し、食べる季節（旬）や対象者に応じた食事摂取基準、対応する食品群等を意識して分量を決めて調理する。

**（２）調理時間**

　　　　①調理開始から片付けを含めて**５０分以内**とする。

　　　　　（おべんとうのふたを閉めて完成、終了までの時間とする）

　　　　②ご飯を炊く、乾物をもどす、漬け込んでおくなどの下準備を事前に行うことは可とする。

***＊ご飯は、白米、雑穀米、もち麦は事前に炊飯可とする。***

③プレゼンテーションは1分の時間を厳守する。

**（３）食材の条件**

　　　　①規定課題**「魚を使った調理」**を**主菜**とする。

　　　　　※魚は切り身、すり身、干物、缶詰、冷凍等でも可

　　　　　※甲殻類（エビ、イカ、カニ）は規定課題とみなさない。

　　　　②材料費の目安は１人分８５０円以内とする。

**（４）用具**

　　　　①お弁当箱と小物は各自で用意する。

　　　　　※色、形、大きさは食べてもらう相手にあったものを使用する。

　　　　　※お弁当として持ち運べる容器を使用する。皿等への食器の盛りつけは認めない。

　　　　②調理器具・調理用具および調理場所は各自で用意する。

**（５）申し込み**

　　　　　所定の用紙に、必要事項を記入し、学校長の承認を得て申し込む。

　　　　　　＊第一次審査に必要な書類

　　　　　　　□ 参加承諾書

　　　　　　　□ レポート（<http://ajgika.ne.jp/>よりダウンロード）

　　　　　　　□ 審査結果・作品返送用封筒　（A４サイズに宛名を記入し、切手を貼ってください。）

**（６）その他**

　　　　①参加生徒の学校名、氏名、作品はWebページなどに掲載させる予定。

　　　　②実施要項に変更があった場合、随時内容を更新する。

　　　　③本戦出場決定チームへは調理動画撮影等の詳細を連絡する。

　　　　④神奈川県大会を1位通過すると、そのまま全国審査に進む。全国審査を通過すると、全国大会への参加資格を得る。

**（７）審査**

　　　　〈第1次審査〉　書類審査（選考結果は大会事務局より連絡する。）

　　　　〈第２次審査〉　実際に調理している動画とプレゼンテーションをもとに審査。

　◇審査項目

　　　レポート

|  |  |
| --- | --- |
| ① 食材・献立 | 食材・献立が対象者にふさわしいか。 |
| ② 栄養バランス | 対象者の食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすに準じ、栄養バランスがとれているか。 |
| ③ 規定課題 | 「魚」を主菜として効果的に調理しているか。  また、おべんとうに適した献立になっているか。 |
| ④ 調理方法 | おべんとうに適した調理方法が工夫され、示されているか。 |
| ⑤ 盛りつけ | 彩りや配置を工夫して、盛り付けているか。 |
| ⑥ 味 | 個々の食材の味を生かし、おべんとうに適した味付けが工夫され記載されているか。 |
| ⑦ 環境への配慮 | 環境に配慮した調理の仕方であるか。（食材、熱源、器など） |
| ⑧ 調理手順 | 作り方や調理手順を分かりやすく記入しているか。 |

　　　プレゼンテーション発表

|  |  |
| --- | --- |
| 表　現 | テーマや構想がプレゼンテーションに反映されているか。 |

本戦通過の際に必要なこと

**調理動画**

　　　おべんとうづくりについて

①実際に調理している様子を動画で撮影して、ＤＶＤに記録する（ＳＤカード可）。

　　　　　レポートともに必ず郵送する。

　　　　②映像は、調理開始から完成までを撮影すること。動画を途中で停止させない。また、正面から撮影し、調理している様子と調理台が映っていること。

　　　　③５０分の動画の録画後に、完成したお弁当のカットを録画する**（背景は白とする）。**

　　　　④調理時は、エプロン、三角巾、マスクを着用していること。

*※録画された動画は、規定時間に合うかを確認するためのもの。*

　　プレゼンテーションについて

　　　　①リモート送信を使用し、競技本部と双方向通信ができる場所から参加する。

　　　　②プレゼンテーション発表時は、「競技者」が映るよう、画面を設定する。

　　　　③発表の中で実際に作ったお弁当を見せること。

　　　　④プレゼンテーションは１分間とする。

　　　　⑤発表後、審査員から質問されることもある。